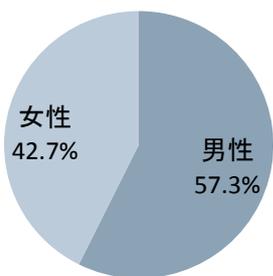


# もりおか暮らしのアンケート 集計結果

■送付数	442	世帯
■回答数	213	世帯
■回答率	48.2	%

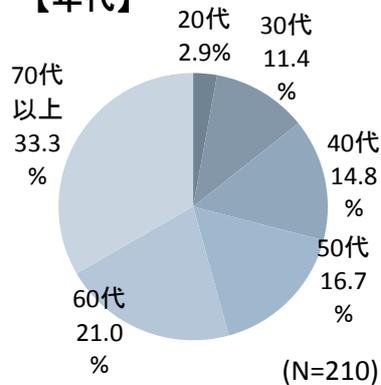
## 回答者の属性

【性別】



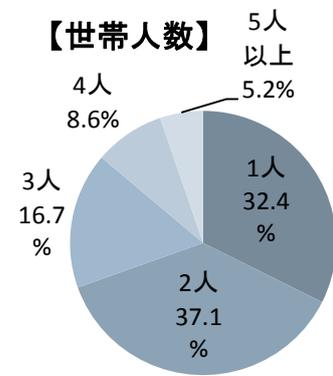
(N=211)

【年代】



(N=210)

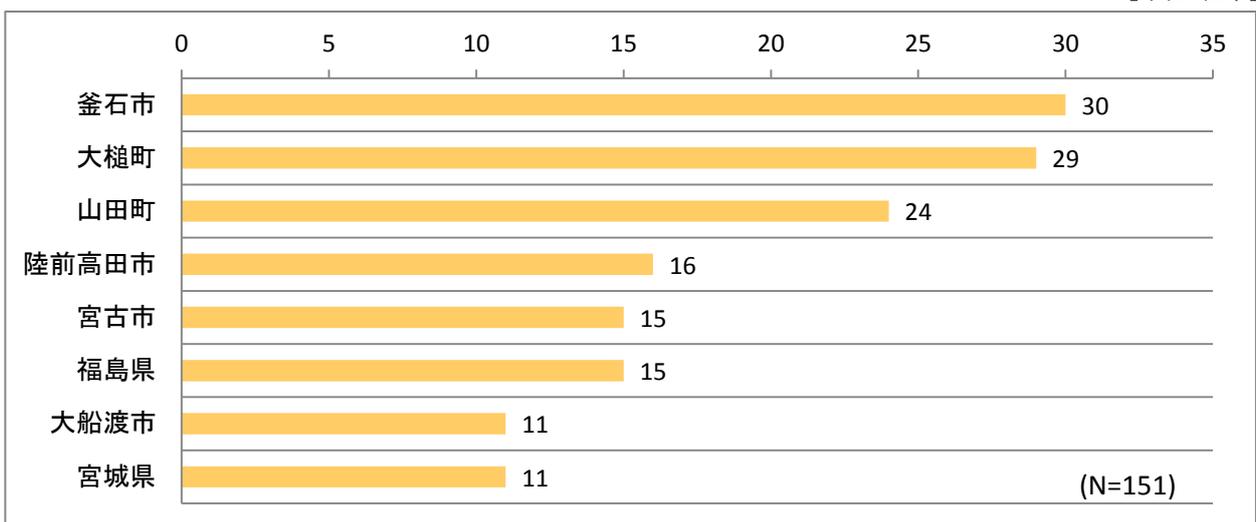
【世帯人数】



(N=210)

【避難元市町村】

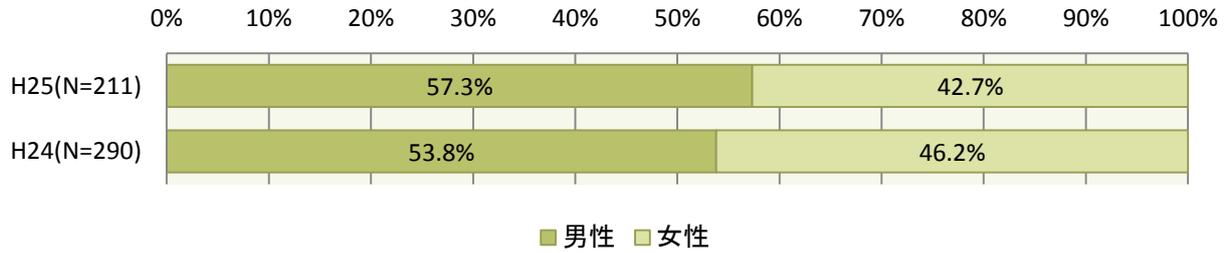
【単位：世帯】



(N=151)

《平成24年度比較 一回答者の属性一》

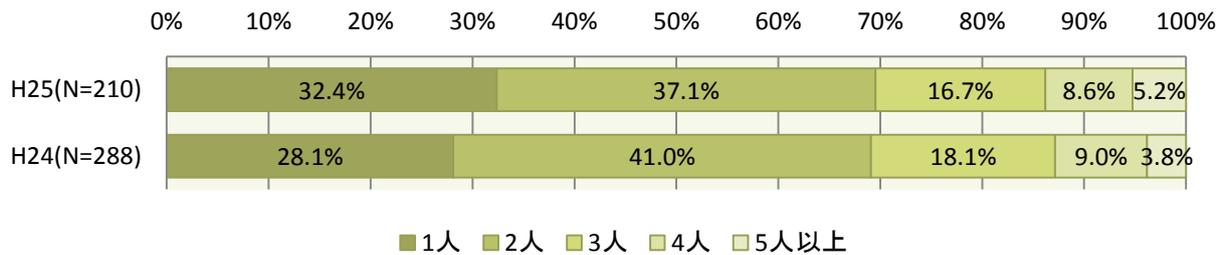
《性別》



《年代》

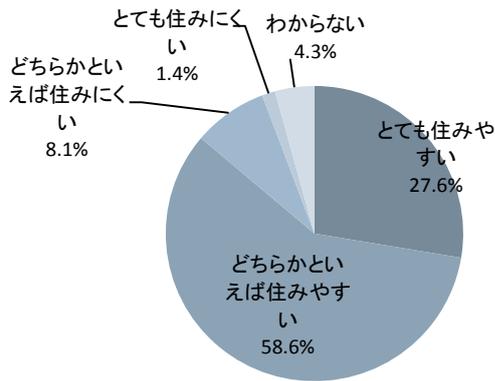


《世帯人数》



# 1 暮らし、住まいについて

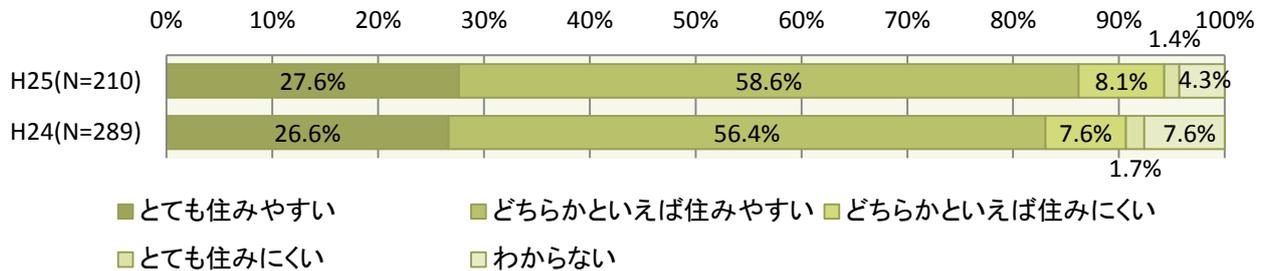
## 【問1】盛岡市は住みやすいと感じていますか？



(N=210)

「とても住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせて86.2%が、盛岡市は「住みやすい」と回答している。

### 《平成24年度比較》



## 【問2】住みやすいと感じる理由は何ですか？（問1で1または2を選択）

### 《主なもの》

- ・ 買い物、病院、公共施設が揃っているのが大変便利。
- ・ 自分から被災者だと名乗り上げない限り、周りの方々にわからない所が良い。
- ・ 津波の心配がない
- ・ 催し物や行ってみたいところが沢山ある。
- ・ 近所のみなさんが、親切で温かい人ばかりである。
- ・ 沿岸よりも仕事がある。
- ・ 子育ての環境が整っている。
- ・ 緑地が多く、静かな環境で暮らしやすい。

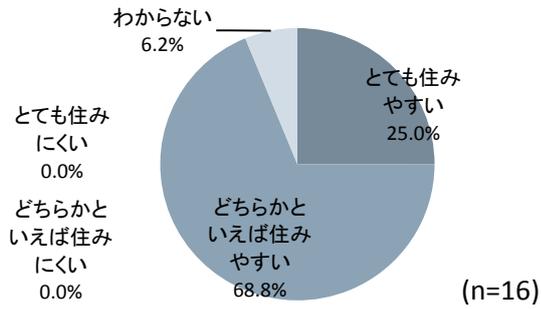
## 【問3】住みにくと感じる理由は何ですか？（問1で3または4を選択）

### 《主なもの》

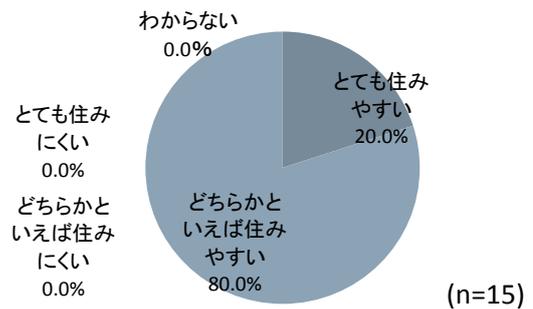
- ・ 車を持っていない為、行動に不便を感じる。
- ・ 寒暖の差が大きく、旧地に比べて体調管理に困っている。
- ・ 除雪をするのが大変。
- ・ 閉鎖的な面があるように感じられる
- ・ 盛岡に住んでいても、隣人・知人など友人と知り合うこともなく、孤独で毎日何をして過ごしたらいいか考えてしまう。
- ・ 物価や光熱費が高い。

《問1 市町村別集計》

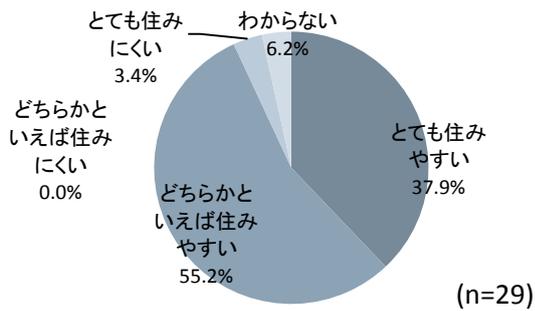
【陸前高田市】



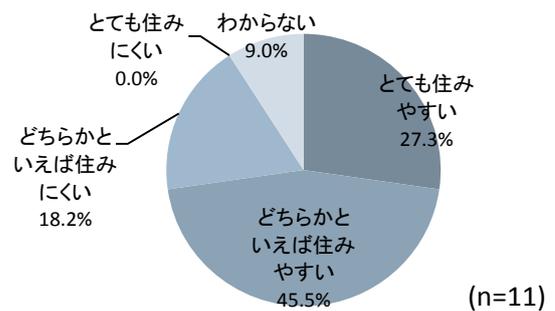
【宮古市】



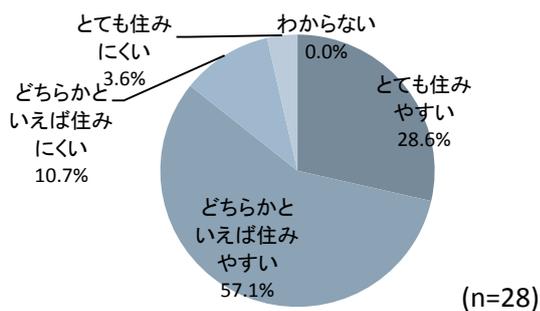
【釜石市】



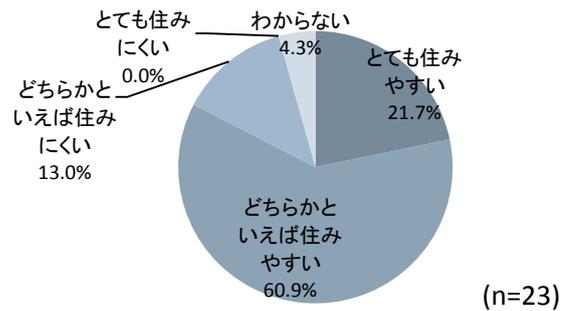
【大船渡市】



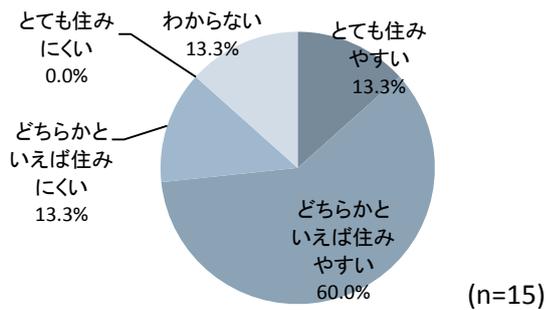
【大槌町】



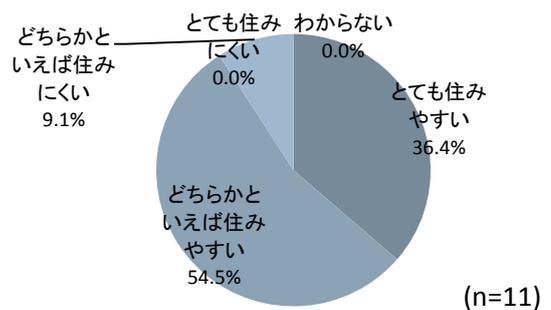
【山田町】



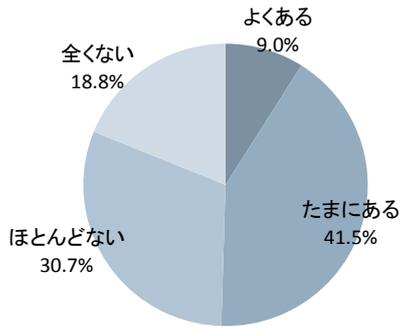
【福島県】



【宮城県】



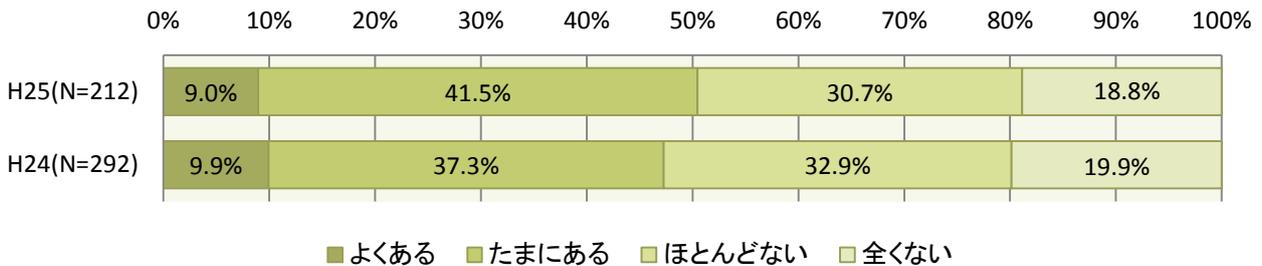
【問4】 近所の方と交流はありますか？



(N=212)

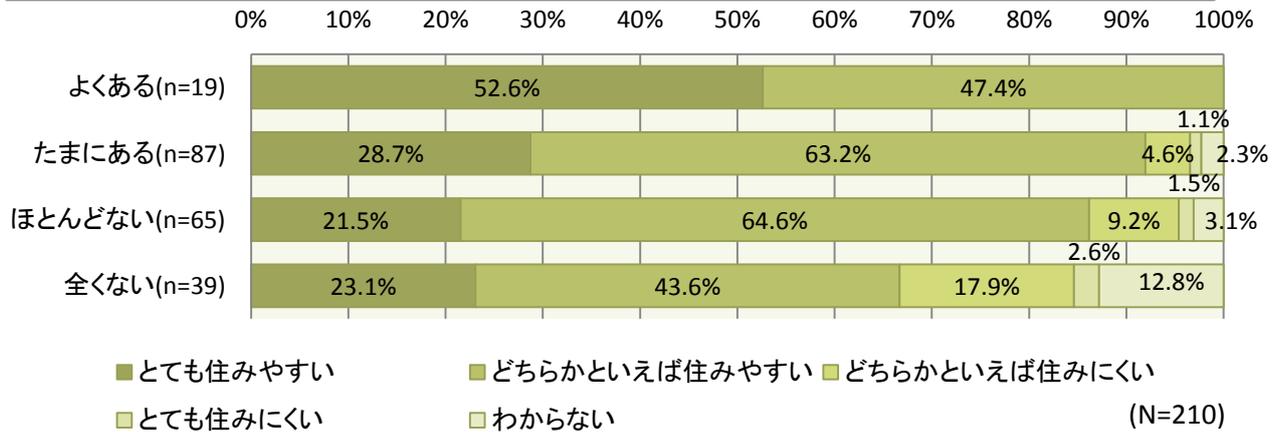
「ある」「ない」が半数ずつ。  
「ある」と回答している方は「住みやすい」と感じる割合が高い一方で、「住みやすい」と感じる理由が、近所付き合いが少なくていい、周囲の干渉がなくていいとの意見もあった。

《平成24年度比較》



《クロス集計》 問1とのクロス集計

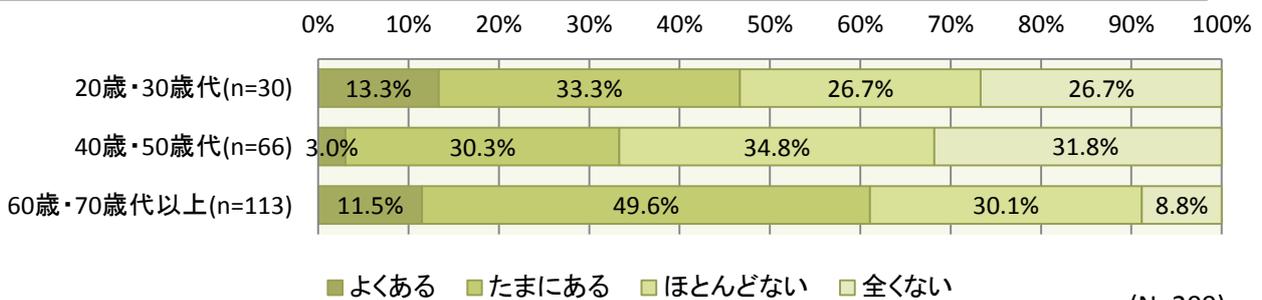
(問4 近所の方と交流はありますか?) × (問1 盛岡市は住みやすいと感じていますか?)



(N=210)

《クロス集計》 年齢とのクロス集計

(年齢) × (問4 近所の方と交流はありますか?)

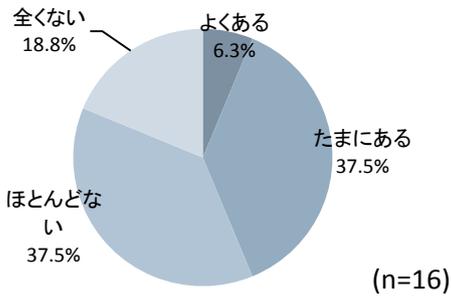


(N=209)

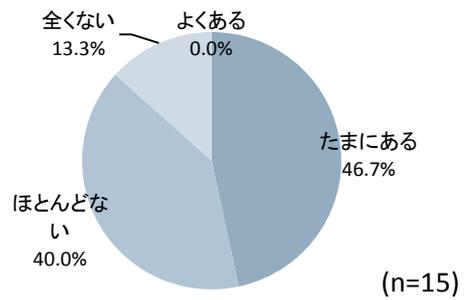
勤労世代では「全くない」「ほとんどない」が半数を超え、高齢世代では「よくある」「たまにある」が半数を超える。

《問4 市町村別集計》

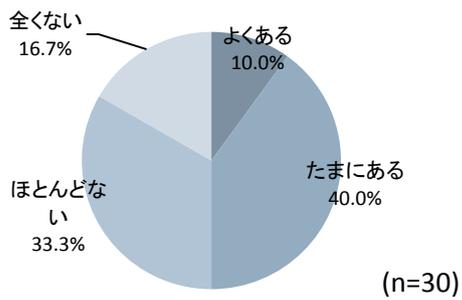
【陸前高田市】



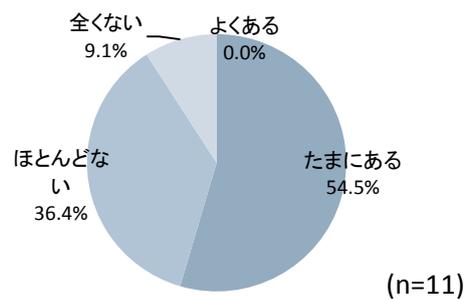
【宮古市】



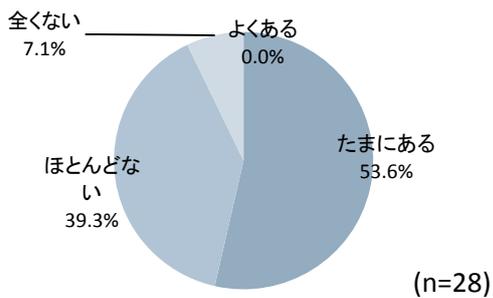
【釜石市】



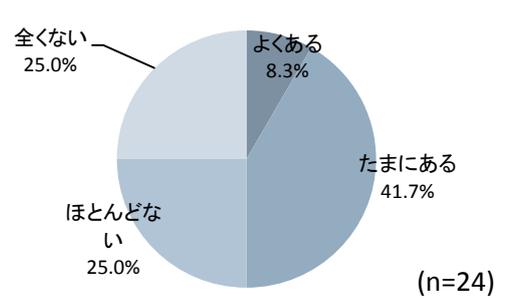
【大船渡市】



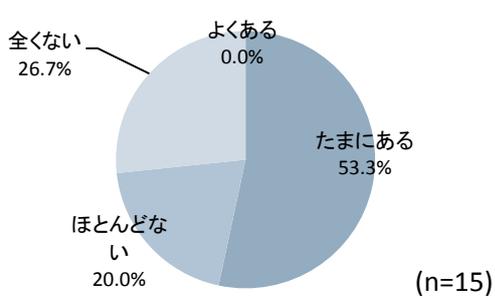
【大槌町】



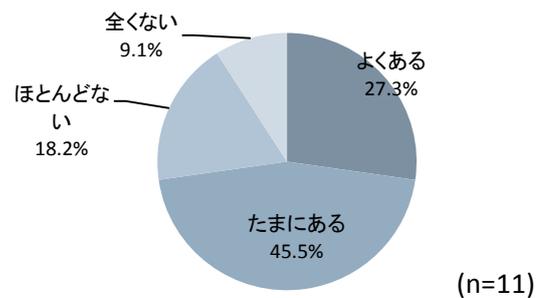
【山田町】



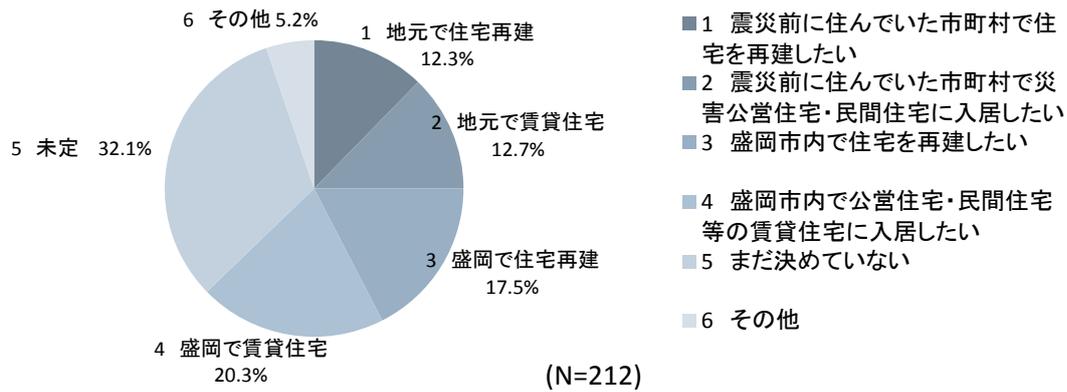
【福島県】



【宮城県】

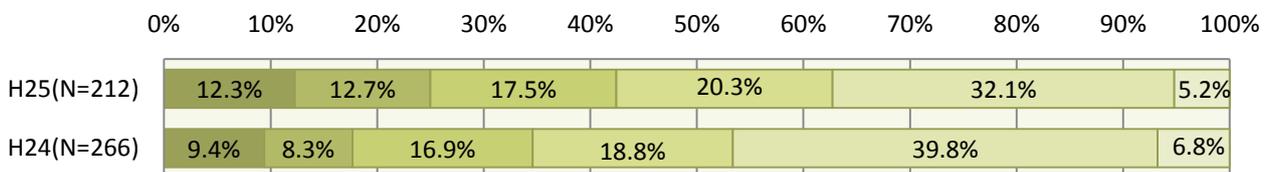


【問5】 これからの住まいをどのようにしたいと考えていますか？



震災前に住んでいた市町村に戻りたい人が25.0%，盛岡に定住したい人が37.8%となっている。

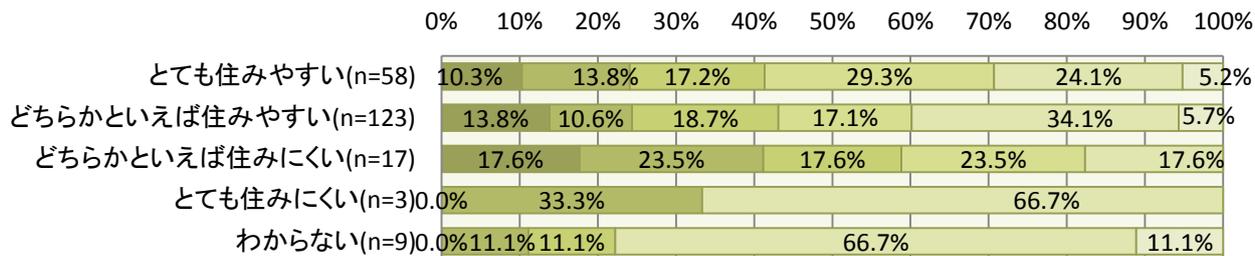
《平成24年度比較》



- 震災前に住んでいた市町村で住宅を再建したい
- 震災前に住んでいた市町村で災害公営住宅・民間住宅等の賃貸住宅に入居したい
- 盛岡市内で住宅を再建したい
- 盛岡市内で公営住宅・民間住宅等の賃貸住宅に入居したい
- まだ決めていない
- その他

《クロス集計》 問1とのクロス集計

(問1 盛岡市は住みやすいと感じていますか?) × (問5 これからの住まいをどのようにしたいと考えていますか?)

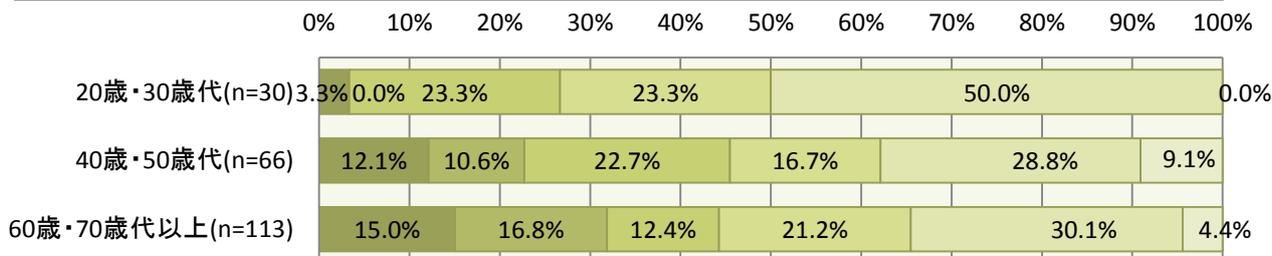


- 震災前に住んでいた市町村で住宅を再建したい
- 震災前に住んでいた市町村で災害公営住宅・民間住宅等の賃貸住宅に入居したい
- 盛岡市内で住宅を再建したい
- 盛岡市内で公営住宅・民間住宅等の賃貸住宅に入居したい
- まだ決めてない
- その他

(N=210)

《クロス集計》 年齢とのクロス集計

(年齢) × (問5 これからの住まいをどのようにしたいと考えていますか?)



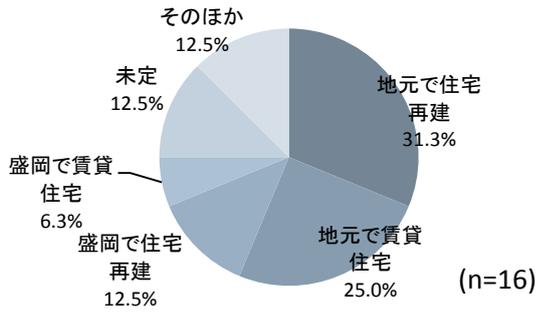
- 震災前に住んでいた市町村で住宅を再建したい
- 震災前に住んでいた市町村で災害公営住宅・民間住宅等の賃貸住宅に入居したい
- 盛岡市内で住宅を再建したい
- 盛岡市内で公営住宅・民間住宅等の賃貸住宅に入居したい
- まだ決めていない
- その他

(N=209)

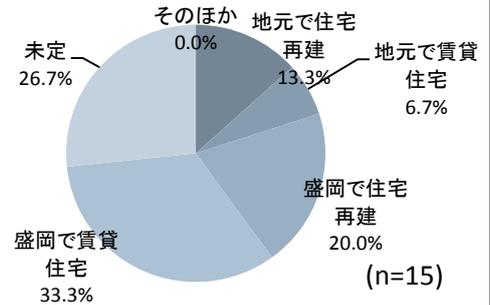
年齢が高くなるにつれ、震災前に住んでいた市町村で住宅再建、もしくは災害公営住宅に入居を希望する人が多い。20歳代・30歳代は震災前に住んでいた市町村に戻りたい割合が合わせて3.3%で、今後の住居をどうするか決めかねている世帯も多いことも分かる。

《問5 市町村別集計》

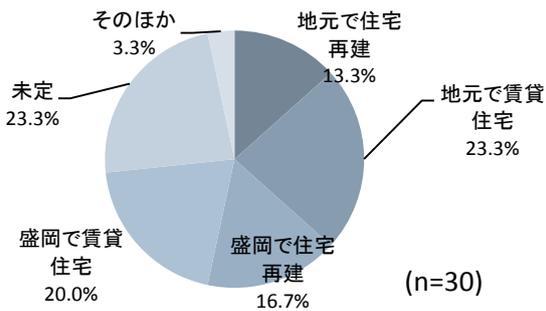
【陸前高田市】



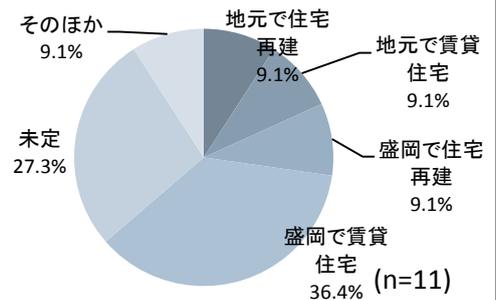
【宮古市】



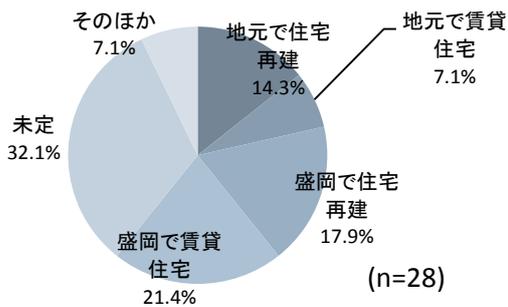
【釜石市】



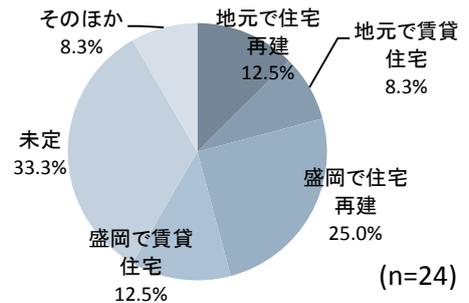
【大船渡市】



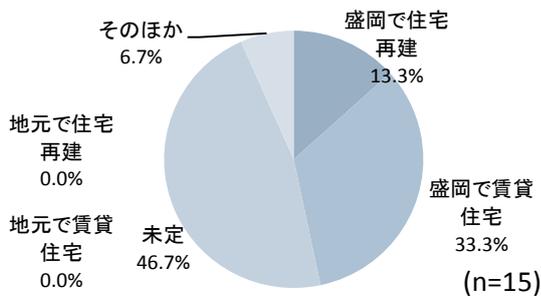
【大槌町】



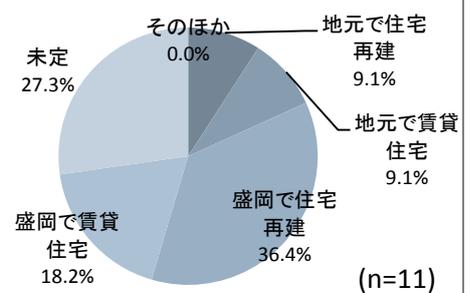
【山田町】



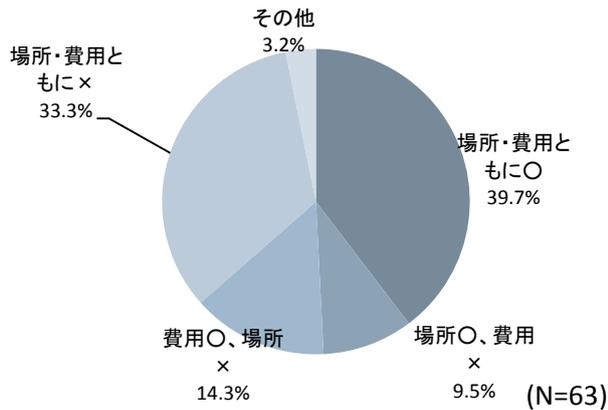
【福島県】



【宮城県】



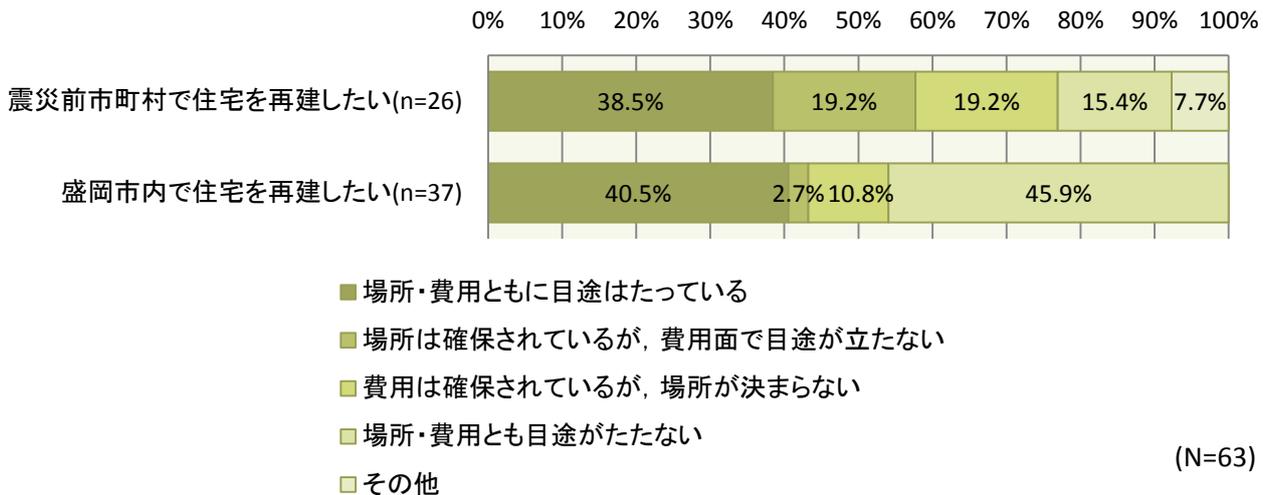
【問6】 住宅再建の目途は立っていますか？（問5で1または3を選択）



問5の住宅再建希望者のうち、場所・費用ともに目途が立っている世帯が、39.7%、場所・費用とも目途が立っていない世帯が、33.3%となっている。

《クロス集計》 問5とのクロス集計

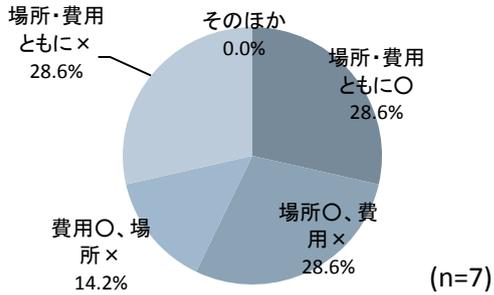
(問5 これからの住まいをどのようにしたいと考えていますか?) × (問6 住宅再建の目途は立っていますか?)



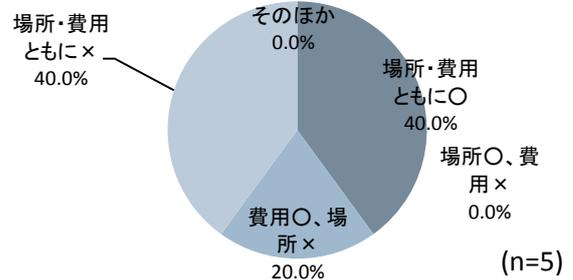
震災前に住んでいた市町村で住宅再建希望の人は、「場所・費用ともに目途が立っている」、 「場所」または「費用」の目途が立っている割合がやや高い。一方で、盛岡市内で住宅再建を希望している人は、「場所・費用ともに目途が立たない」割合がやや高い。

《問6 市町村別集計》

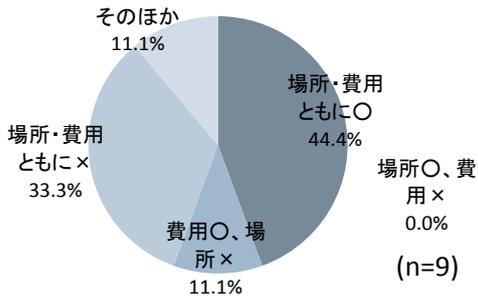
【陸前高田市】



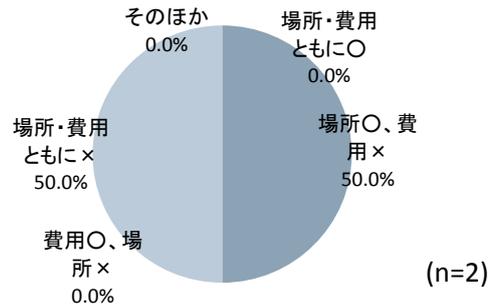
【宮古市】



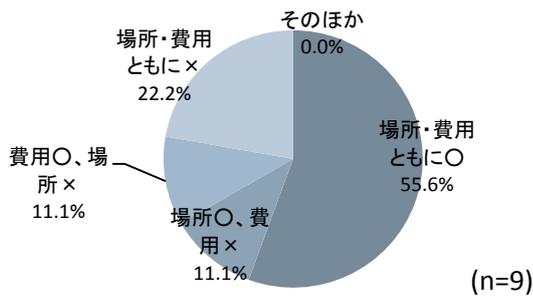
【釜石市】



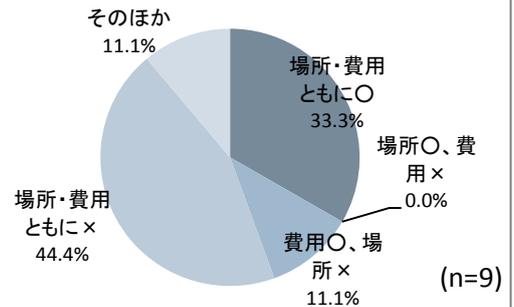
【大船渡市】



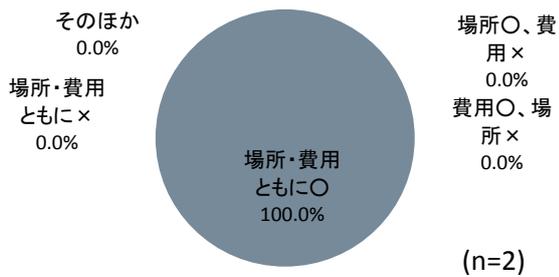
【大槌町】



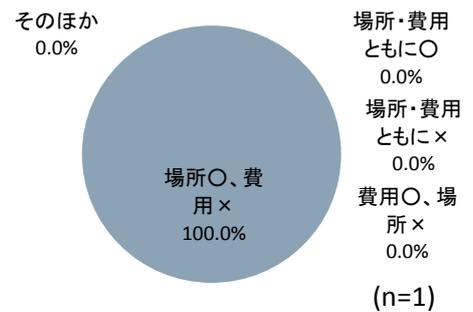
【山田町】



【福島県】

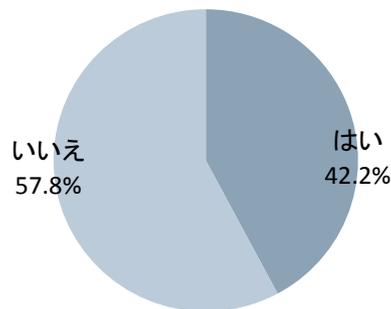


【宮城県】



## 2 仕事について

【問7】 現在、仕事はされていますか？

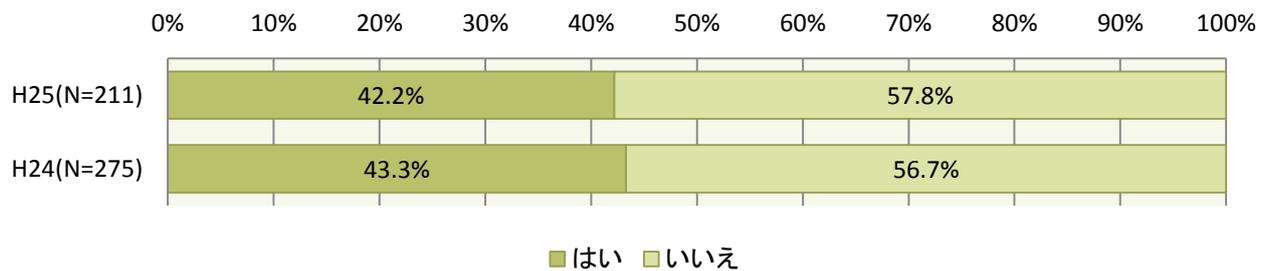


(N=211)

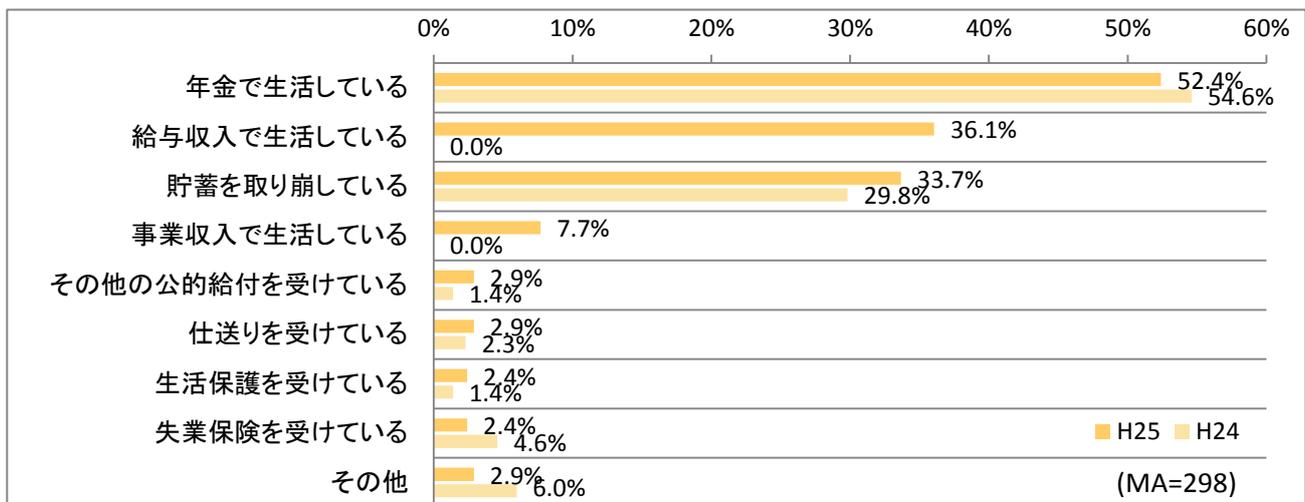
「いいえ」が半数以上。  
回答者の半数以上が、高齢者（60歳代、70歳代以上）であるためと考えられる。

(N=211)	仕事を している	仕事を していない	合計
20歳代・30歳代	25	5	30
40歳代・50歳代	44	22	66
60歳代・70歳代以上	17	95	112
年代不明	3	0	3

《平成24年度比較》



【問8】 世帯として、どのように生計を維持していますか？（複数回答可）



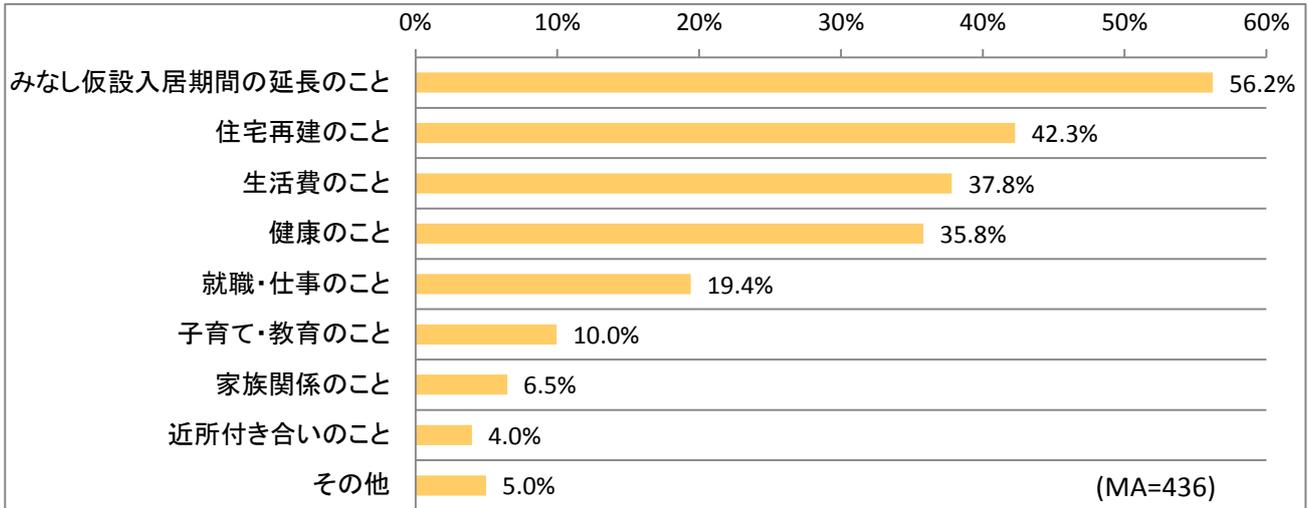
※平成24年度：給与・事業収入がない方への設問の為、給与・事業収入のデータなし。

	年金	給与収入	貯蓄を取り崩している	事業収入	その他の公的給付	仕送り	生活保護	失業保険	その他	合計
H25(N=208)	109	75	70	16	6	6	5	5	6	298
H24(N=218)	119		65		3	5	3	10	13	218

回答者の半数以上が、高齢者（60歳代、70歳代以上）であるため、「年金で生活している」人が最も多い。次いで、「給与収入で生活している」「貯蓄を取り崩している」人が多い。

### 3 現在の状況について

【問9】 あなたの世帯の現在の困り事や心配事は何ですか？（複数回答可）

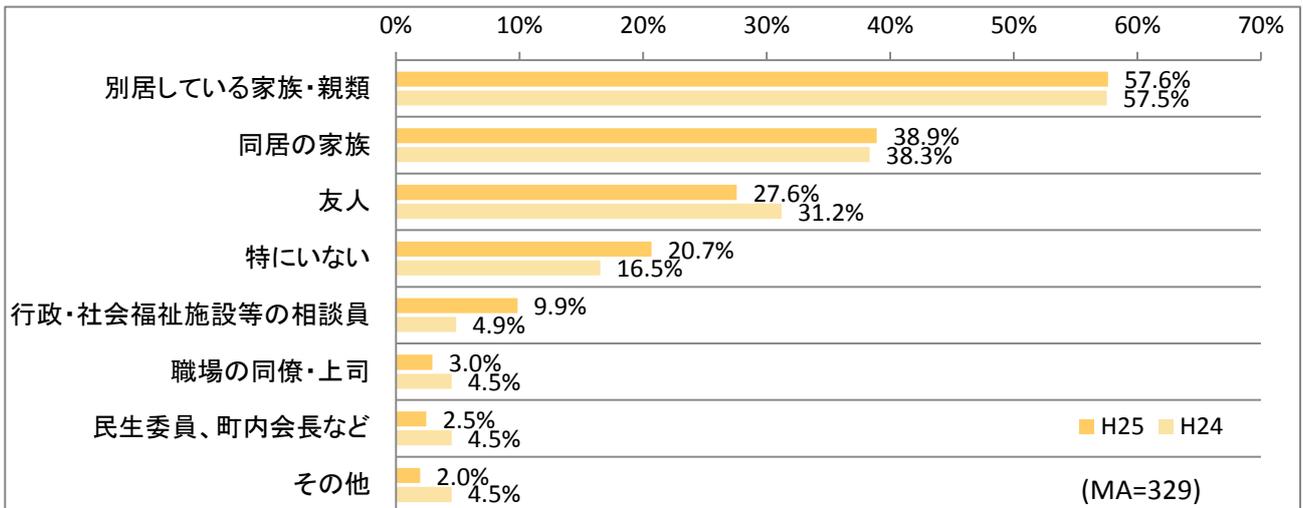


※平成24年度データなし

	みなし仮設	住宅再建	生活費	健康	就職・仕事	子育て・教育	家族関係	近所付き合い	その他	合計
H25(N=201)	113	85	76	72	39	20	13	8	10	436

現在の困り事、心配事で最も多いのが「みなし仮設住宅入居期間延長のこと」。震災前は一戸建てに住んでいた人が多かったためか賃貸・集合住宅に慣れず、「住宅再建のこと」が次いで多かった。前項で「貯蓄を取り崩している」人が多く、今後の生活費も心配であることも分か

【問10】 生活上の困り事や心配事を相談する相手は誰ですか？（複数回答可）



	別居の家族	同居の家族	友人	特になし	行政の相談員等	職場の同僚等	民生委員等	その他	合計
H25(N=203)	117	79	56	42	20	6	5	4	329
H24(N=266)	153	102	83	44	13	12	12	12	431

回答者の半数以上が高齢者であり、一人暮らしでの生活をしている人が多い。別居している子供や親戚に相談する割合が最も多かった。次いで、「同居の家族」「友人」が多く、「特になし」という人も、昨年に引き続き多かった。

## 4 そのほか

【問11】現在の困り事や心配事などのほか、盛岡での生活や将来について、日頃考えていることがありましたら自由にご記入ください。

《主なもの》

- ・震災前に住んでいた地域の災害公営住宅への入居予定が、まだ2年以上も先(H27年夏以降)。かかりつけの病院や、家族のこれからの仕事等を考えると、盛岡市内での災害公営住宅の建設はできないものか。
- ・子供の進学の問題も、大学があったり、進学塾があったり、目標を立てやすい。
- ・1番心配なのは、これからのみなし入居期間が終わった後の住居の事。みなし仮設住宅の入居期間の延長を強く希望する。
- ・東日本大震災で親戚が大勢流され、地元に残った身内はたった一人。地元に戻っても頼れる人がいない。
- ・震災前に住んでいた町は懐かしく帰りたいが、元の土地には住居の許可が下りない。
- ・現在盛岡で受けている医療を、地元に戻ると維持できない。
- ・今住んでいるみなし仮設にもう少し長くいられるという安心があると、子育て・仕事も含め先の見通しも立てられるのだが。今の状況では住むところに合わせた短期的な見通ししか立てられない。
- ・住宅借上げによる応急仮設住宅の供与期間が現行の3年間から1年間延長(4年間)となり、生活上大変助かる。医療費と合わせ、供与期間が切れた場合、生活費をどのように工面すべきか悩みの種である。
- ・地元の大槌が懐かしくて戻りたい気持ちは強いが、今後の生活の事を考えると、病院の事、便利な生活の事、様々考えると、盛岡に住むしかないのかなと思っている。
- ・災害公営住宅に住めるのはいつなのか？帰ったら仕事はあるのか？色々考えると眠れない。
- ・まだ先の見通しがつかない。盛岡で公営住宅に入れるものなら入りたいという気持ちもあるが、子供たちは地元には仕事がないので、一生、盛岡で暮らすことになるだろう。私自身は子供達の近くで住みたいという気持ちが大きいですが、夫は地元から離れる生活は頭にはないようだ。どうしてよいか決心がつかない状態。
- ・高齢夫婦の年金生活では、二度目の住宅再建の資力が無い。
- ・流失した土地の買い上げ等の金額が確定していない為、目途が立たない。
- ・現在住んでいる場所にマンション購入や住宅取得を考えているが、信用して相談できる不動産店や土地勘のある知人がいない。
- ・仕事の事が一番心配。盛岡でこれから先生活する上でも、仕事が見つからなければ何もならない。
- ・現在は被災者雇用されているが、その国からの援助がなくなったら仕事がなくなると思うと不安。
- ・一年間は夢中で暮らしていたが、日が経つにつれ、今後のことと健康のことが心配でたまらない。
- ・福島から来ていることで、子供が学校に入学した時、嫌な思いをしないかどうか心配。
- ・支援センターは今後も続けて頂きたい。少しでも収入が得られるような手仕事を継続していただきたい(現在の復興ぞうきんのようなもの)。
- ・盛岡市の支援センターを中心に色々な方が、色んな形で支援して下さることに日頃、本当に感謝している。こんなに沢山の方々に気遣ってもらえることが有難い。反面、そろそろ自立して行くことも必要だと考えている。
- ・まずはみなし仮設からの脱却をし、きちんと落ち着きたい。その上で、震災以降の体調不良から健康な身体を取り戻したい。残り少ない人生、普通に食べて生活でき収入を得られるよう、仕事に就きたい。
- ・家族の中に病人がいると帰りたくても交通も不便、病院もない、住むところもない、元の所に帰れない、悲しさ、悔しさ、寂しさ。月日が経つと被災者同士の目に見えない気持ちのずれ。これからも被災地の応援、支援を宜しく願っていたい。